

Fusyo Collaboration letter



4月21日 No.4 文責 廣田 秀俊

キラキラ掃除 キラリと光る心と学校

1年生と出会った6年生。優しさが表情から伝わってきます。
4月16日(水)に、1, 6年生の掃除集会が行われたときの様子です。



ぞうきがけの仕方を丁寧に教える6年生。直線拭きやカクカク拭きを実践しながら伝えていきます。6年生の話をしっかり聞けた1年生は、そのマネをしながら体験によって体で覚えていきました。小学校での掃除に、興味関心を持った1年生が意欲的に掃除を行っています。

16日は新チームでの掃除開始の日でもありました。新チームで立てためあてに向かって、初日から張り切って活動を進めていました。あっという間によごれてしまったぞうきんを見せしてくれる児童もいました。隅々までそして念入りに拭き掃除をしている証拠です。

本校の掃除は、どの方が見ても感心してもらえる活動となっています。リーダーの6年生、サブリーダーの5年生が自覚を持ってその手本を見せていることが、この掃除のスタートでもあります。その姿を見る他学年の児童が、そこに近づこうと懸命に掃除をしています。

毎日時間いっぱい掃除に取り組む子供達が、継続して真面目に最初から最後まで取り組めるのは、日々のふり返りの効果も大きく影響しています。



ある日のふり返りでこんな言葉がリーダーから発せられました。

「机はきちんと持ち上げて掃除するようにしましょう」

「まだ取りかかりが十分でないので、取りかかりを早くしよう」等。

できていることは続け、まだのところはさらに向上していくように、その心がけがキラキラ掃除を進化させている証となっています。



毎日の掃除の取り組みにより、学校はキラリと光っています。それと同じように子供達の心もキラリと光っています。やりがいと達成感を感じているからだと思います。

校長室近くの廊下で、6年生が1年生に優しく声をかけ、昼休みの遊びの約束をしています。こんな交流が、学校がワクワクする場所となっていくきっかけになっているのだと思います。毎日たくさんの笑顔を学校で見ることができます。

